

『 みんなで協力してつろう 』 ほし組 12月 富雄南こども園



エピソード

作品展が終わり、リズム室の壁面の話し合いをした。「リズム室の壁面はどんなものをつくりたい？」という保育者の問いかけに「うーん、冬だからサンタさんにする？」「雪つくる？」「サンタさんが入れるお家は？」などいろいろな意見が子ども達から出た。様々な意見の中からみんなで【雪が積もっているお家】をつくることになった。

作品展で学年合同の共同製作をした経験から、3つのグループになり、作品をつくりはじめる。まずはみんなで画用紙にどのようにするのか設計図をかく。「家に色は赤にしよう！」「窓は3個にしてみる？」など、家に色を塗ったり、屋根をかいたり、役割を決めて進めている様子があった。

設計図をかいた後は、画用紙で実際に家をつくる。保育者が何も言わなくても「ここは私が作るから、窓をつくってね」「窓はこの色でいいかな」と友達と話して決めながらつくっていた。

次の日にリズム室に貼ってあるのを見ると「これ僕がつくったやつや」と嬉しそうに友達と話していた。

保育者の思い

- ・自分だけの思いではなく、友達と意見を出し合い、協力して作品をつくりあげてほしいと思いました。
- ・作品展で共同製作をした経験から、友達と一緒に相談しながらつくる喜びや、楽しさを味わってほしいと思いました。
- ・みんなでつくる喜びを経験することで、「次は何をつくらうかな」「どんなアイデアをだそうかな」「楽しみだな」と思い、子ども達から「もっとやりたい!」と自分達で進めていこうとする姿になってほしいと思っています。

子どもの育ちや学び

- ・自分達がイメージする【冬】について友達と一緒に考え、話し合う。
- ・作品展の共同製作をした経験から、まずは設計図をかき、自分達が想像している家を画用紙でつくる。
- ・家の土台をつくったり、屋根を切ったり、のり付けをしたり、役割を決めて製作をしている。
- ・友達と協力することでいろんな意見が出て、設計図と同じような作品ができ、喜んでいる。

家庭だったら・・・

- ・お子さんと「どうする？」「どうしたい？」と相談しながら、料理やお部屋の模様替えなど、お家のことを一緒にするのもいいですね。
- ・友達と一緒に作りあげたという嬉しさや喜びを共感し、「すごいね」「頑張ったね」と思い切り褒めてあげると、子ども達も「次も頑張ろう!」と意欲につながるかもしれませんね。